



都市整備

親和銀行跡地利用の内容は？

Q 親和銀行跡地に、こども未来館を開設する計画があるが、地域での子育て支援の充実が図られている中、多額の費用をかけてつくる必要があるのか疑問である。また、中心市街地での子育て支援なら図書館や科学館等と一体的に展開することも検討する必要がある。考え直せないか。

A 拠点になる大型施設がまちの中心にあることで、周辺施設が生きてくるという考え方である。また、魅力的な施設にするには、複合的でなければならぬ。市立図書館や子ども科学館等との整合性を図り、連携させたい。

新たな公営住宅の建設は民業圧迫だ！

Q 民間の賃貸住宅が千戸以上空いているといわれる今、公営住宅の新築は民業圧迫になる。また、中心市街地の活性化にもつ

ながらない。本町アパートの建設計画の白紙撤回を求める。既存の民間住宅を借り上げて公営住宅とする制度を導入するべきだ。

A この計画は、土地利用の効率化や経済的観点からも効果となるので必ず実施する。民間住宅の活用については、様々な条件により難しい面があるが、モデル的に実施する方向で検討する。

中長期的な水資源の確保を

Q 萱瀬ダム嵩上げから10年が経過し、水需要が変化している。本市の発展のカギである水資源の確保のため、萱瀬ダムの水利権を持つ長崎市との協議を始めるべきではないか。

A 長崎市の水事情は、需要が減少しているが、まだ厳しいレベルである。仮に買い取る場合でも、長崎市負担分86億円の財源の問題もある。非常に難しい。



行財政・一般

今後の大村市の財政見通しは？

Q 戦後最大の国難といわれる東日本大震災により、大村市にも図りしれない影響があると考えるが、今年度の予算執行と今後の財政見通しについて尋ねる。

A 現在、地方交付税や補助金などで若干の影響が出ている。震災関連の国の2次補正の財源や平成24年度の国の概算要求等を踏まえないと財政見通しを立てることができないが、計画している事業については極力計画どおりに実施できるようにしていきたい。

市民課窓口の時間延長と土・日・祝祭日の半日開庁を

Q 春の異動時期には多くの自治体で市民課窓口の時間延長や土・日・祝祭日の半日開庁を実施している。大村市でもできないか。

A 転出・転入の場合、市民課だけでなく国民健康保険や福祉関係などの手続きも必要とな

る。現在、これらの窓口について、土曜日の午前中に開設できないか協議している。

さくらのまちづくり日本一に

Q 大村市の観光資源の中で一番は「花」であると考え、花の中でも大村市は「日本さくら名所100選」のまちである。天然記念物オオムラザクラをもっと充実させ、「さくら日本一」のまちづくりで観光客の増加を図るビジョンについて問う。

A さくら名所100選を契機に市民や各団体とともにさくらの植栽事業を展開している。最近では、鈴田地区住民による千本桜の取り組みがなされるなど、市民の盛り上がりは心強い。今後、官民一体となって運動を広げ、日本一を目指していく。

